

時間	講義項目
10:00 }	従来 <sup>1</sup> の運用規定と管理体制の問題点
11:00	1. 学校法人経営と資金運用管理を取り巻く環境の質的变化 (1)従来 <sup>1</sup> の運用規定と管理体制が機能していた理由 (2)裏側に隠れる問題の本質とは 2. 従来 <sup>1</sup> の運用規定の問題点 (1)それで説明責任が果たせるのか? (2)他非営利法人(財団・社団法人)の事例 3. 従来 <sup>1</sup> の管理体制の問題点 (1)それで説明責任が果たせるのか? (2)他非営利法人(財団・社団法人)の事例 質疑応答
11:10 }	目的・目標、役割と責任の範囲の限定～具体的な運用管理ポリシーの決定と文書化
12:30	1. 役割と責任の範囲は何処までなのか? (1)法人は運用益を追求すべきか否か? (2)運用益はどこまで追求するのが妥当か? (3)なぜこの運用管理手法を採用するのか、なぜ他のやり方ではないのか? (4)想定される運用リスクは? (5)リスクに対する次善策はどのような用意があるか? (6)運用・証券分析を行うのか? (7)だれが運用・証券分析をするのか?(法人 or 外部) (8)どのような役割分担・契約で実施するのか? (9)それはどのように監視・評価、見直されるのか? 2. 役割と責任の範囲は何処までなのか? (1)法人は運用・証券分析を外部委託すべきなのか? (2)法人はそれらの選択・管理(モニター、評価、見直し)の合理的基準を持っているか? 3. 法人の役割と責任の範囲限定の方法 - 財団法人Tの事例 (1)運用・証券分析という業務の本質 (2)法人が外部委託先を評価する能力について (3)権限委譲と適切な監視・評価を可能にするポリシー、運用基本方針書の事例 質疑応答

昼 食

13:30 }	運用効果と管理プロセスの説明性の確保～ポートフォリオ管理への転換
14:50	1. ポートフォリオ管理の合理的な説明性の根拠 (1)一般常識的な根拠 (2)理論的な根拠 (3)実証的な根拠 2. ポートフォリオ管理の説明性の確保 - 社団法人Aの事例 (1)運用益の蓋然性と運用リスクマネジメントに関する理論・一般常識 (2)政策ポートフォリオ(資産配分) (3)運用シミュレーション分析 質疑応答
15:00 }	資金運用関係者の業務と責任の軽減～運用管理オペレーションのシステム化
16:00	1. 法令、各業法上の注意点 (1)資金運用規制 (2)外部金融機関との義務・権利の明確化 2. 人的な問題への対処 (1)役員・担当者の交代 (2)取引金融機関の担当者交代 3. 運用・管理システム稼働と業務と責任の軽減 - 財団法人Dの事例 (1)運用管理ポリシーの策定 (2)運用管理ポリシーの実行監視・評価・見直し (3)運用商品と外部金融機関の選択・契約 質疑応答

梅本 洋一 氏のプロフィール

1967年富山県生まれ。1990年国際基督教大学教養学部卒業後、野村證券に入社。以後13年間、個人・法人の資金運用に従事後、(株)アセットマネジメント・ラボラトリーに入社。非営利法人資金運用研究会の事務局長を兼務。機関誌『学校法人』『公益法人』論文寄稿。地域科学研究会主催セミナー、(財)公益法人協会主催セミナー講師。連続研修会『公益法人資金運用研修プログラム』その他を通じ、公益法人・学校法人の資金運用ガバナンスの発展のための啓蒙活動・コンサルティング実績多数。